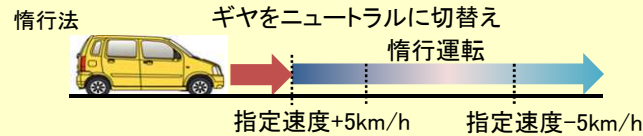


燃費の測定方法と不正の概要

1. テストコースにおいて走行抵抗値を測定(メーカー)



走行抵抗値を不正に取得

不正な燃費値

三菱自動車

：実際より燃費を良くみせるため、

- ① 法令で定めた「怠行法」と異なる方法で走行抵抗値を測定
- ② 走行抵抗値を実測せず、既存の走行抵抗データから机上計算
- ③ 走行抵抗値を根拠なく改ざん

スズキ

：測定の手間を軽減するため、

- ① 法令で定めた「怠行法」と異なる方法で走行抵抗値を測定

2. 燃費・排出ガス試験(国(機構))



試験装置に走行抵抗値を入力
シャシダイナモメータで燃費を測定

国土交通省の対応

不正行為に対する厳格な措置と抑止効果を持つ審査方法への見直し

(認証前)

型式指定申請・審査時

新車生産時・使用過程時

メーカー

申請

1) メーカー提出データを使用する試験においてメーカーによるデータ測定を抜打ちチェック

疑義

2) 不正の有無の検証

- ・当該自動車の審査を一時停止

不正

3) 申請事項等に対する措置

- ・不正のあった申請の却下、不正の公表
- ・当該メーカーの他車種の審査の一時停止

不正

4) 型式指定後の監査・調査の強化

- ・工場の生産ラインからの実車抜取りによる確認
- ・メーカーの型式指定申請プロセスのチェック
- ・使用過程車に対する抜取りでの路上試験による排出ガスの確認

5) 虚偽の申請に対する不利益処分

- ・虚偽申請発覚時には当該型式の指定の効力を停止
※自動車型式指定規則(国土交通省令)を改正

7) 不正後の申請に対する措置

- ・一定期間、審査を厳格化し、他メーカーと審査内容、審査期間等を差別化

6) 虚偽の申請に対する罰則

- ・申請書類等への虚偽記載の禁止を明確化し、違反した場合に罰則を適用

※自動車型式指定規則(国土交通省令)を改正